



実用新案登録願 (3)

昭和 55年 5月 2日

特許庁長官殿

1. 考案の名称

自動車用ドア

2. 考案者

神奈川県横浜市戸塚区和泉町6208

石 田 繁 夫

外 2 名

3. 実用新案登録出願人

神奈川県横浜市神奈川区宝町2番地

(399) 日産自動車株式会社

代表者 石 原 俊

4. 代理人 〒104

東京都中央区明石町1番29号 掖済会ビル

電話 03 (545) 2251~4

弁理士 (6219) 志賀富士弥

5. 添付書類の目録

- | | |
|-------------|-----|
| ✓ (1) 明 細 書 | 1 通 |
| ✓ (2) 図 面 | 1 通 |
| (3) 願 書 副 本 | 1 通 |
| ✓ (4) 委 任 状 | 1 通 |

方 式 在 審

161820
55 061003



55 5

明 細 書

1. 考案の名称

自動車用ドア

2. 実用新案登録請求の範囲

- (1) ドアインナパネルを樹脂材を以つて成形すると共に、該ドアインナパネルの車室側の側面に軟質樹脂材からなるドアトリムを一体成形したことを特徴とする自動車用ドア。

3. 考案の詳細な説明

本考案は自動車用ドアの改良に関する。

自動車用ドアの車室側面、具体的にはドアインナパネルの車室側面には、装飾並に感触を高めるためにドアトリムを配設するようにしているが、このドアトリムは通常芯材となるボード面に緩衝材として発泡材シートを張設し更にその上に表皮

として例えば塩化ビニルシートを貼合して構成してあり、これをドアインナパネル面にクリップ止め等によつて取付けるようにしている。

ところで、このようにドアトリムを別成形するのではドア組付工数が嵩むばかりでなく部品管理が大変となつてしまい、また該ドアトリムは嵩張るためドア組立ラインでの部品管理スペースを大きく占有してしまうものである。また、ドアトリム自体の成形にも多くの加工々数を要し、しかも前述のように多くの資材を要するため資材管理も大変となつてしまい、これらの併因からコストアップを招来してしまうものであつた。

本考案はかかる従来の実状に鑑み、近年、ドアの軽量化を図るためドアを樹脂化することが提案されている点に着目し、ドアインナパネルを樹脂

材を以つて成形すると共にその車室側の側面に軟質樹脂材からなるドアトリムを一体に二層成形することにより前記従来の問題点を解消しようとするものである。

以下、本考案の実施例を図面と共に詳述する。

第1, 2図において、1はドアアウトパネル、2はドアインナパネルを示し、該ドアインナパネル2は適宜の樹脂材を以つて成形してある。また、このドアインナパネル2の車室側の側面には、その成形時に適宜の軟質樹脂材、例えば発泡ウレタンからなるドアトリム3を一体に二層成形してある。

この発泡材からなるドアトリム3の表面は、発泡成形時に図外の成形型のキャビテイ面に接触することで薄い被膜3aとして成形され、丁度従来の

ドアトリムのように緩衝材の表面に塩化ビニルシート等の表皮材を貼合したものと同様な外観並に感触のものとなる。

また、このドアインナパネル2、ドアトリム3の同時二層成形時に、車室側面となる窓外の成形型面の所定部位にクロス4やカーペット5等をセットして該ドアインナパネル2とドアトリム3とを一体成形することにより、ドアトリム3の表面にクロス4部分やカーペット5部分を付帯成形することができ、より装飾効果、感触を高めることもできる。

なお、ドアアウトパネル1に関しては、従来のように板金製のものでもよいが、ドアインナパネル2と同様に樹脂材を以つて成形すればドアの軽量化を図る上で効果的であり、この場合ドアアウト

タパネル 1 とドアインナパネル 2 との結合は従来の板金製ドアにおける巻締め結合に替えて接着剤による接着手段の採用により組付けを簡単に行うことができる。

また、前述のようにドアインナパネル 2 とドアトリム 3 との一体成形により、一般のドアインナパネルの如きドア内機能部品組込み用の作業孔の設定が不可能となるが、ドア内機能部品はドアアウトパネル 1 とドアインナパネル 2 との結合前において該ドアアウトパネル 1 および又はドアインナパネル 2 に組付ければよい。なお、第 1 図中 6 はドアサッシュを示す。

以上のように本考案によれば、ドアインナパネルを樹脂材を以つて成形すると共に、その車室側の側面に軟質樹脂材からなるドアトリムを一体成

形してあるため、従来、ドアトリムを別成形していたものに較べて部品点数、組込み工数を著しく削減して大幅なコストダウンを実現できる利点があり、しかも、ドアインナパネルの樹脂化によりドア重量の軽量化に大きく寄与し得る利点がある。また、ドアトリムの一体成形により樹脂ドアインナパネルの補強効果も待られるという数々の実用上の効果を有する。

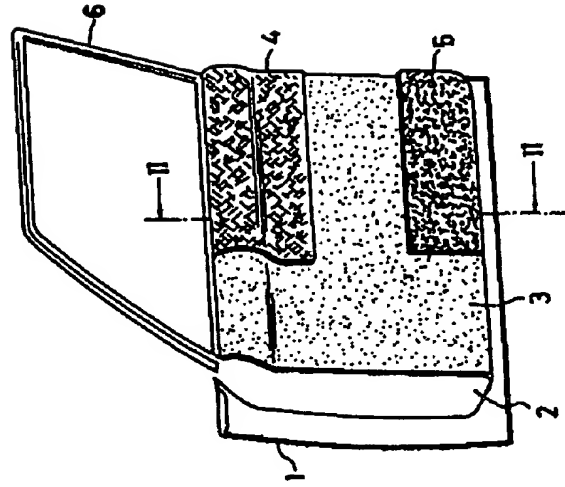
4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案ドアの一部破断斜視図、第2図は第1図のⅡ—Ⅱ線に沿う断面図である。

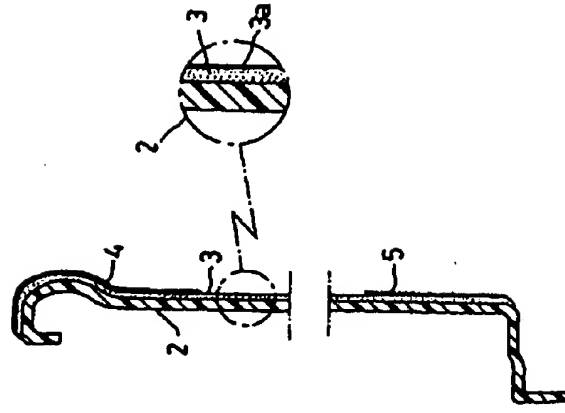
1…ドアアウトパネル、2…ドアインナパネル、
3…ドアトリム。

代理人 志 賀 富 士 弥

第 1 図



第 2 図



161820

代理人弁理士 志賀 富士 彦

6. 前記以外の考案者、実用新案登録出願人

考 案 者

神奈川県相模原市相武台団地 1-6-12-44

中 村 重 厚

神奈川県横浜市中区 5-25-15

藤 内 忠 彦

161820